

社会調査士の資格と履修科目について（2021年度）

社会調査士とは、社団法人社会調査協会が認定する資格で、〈社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることの出来る能力を有する「調査の専門家」〉の事です。マーケティングや調査業務だけでなく、営業職や一般事務を含む幅広い分野での活躍が期待されています。取得に必要な科目を履修して申請すると、卒業後に資格を取得できます。詳細は、社会調査協会のホームページを参照してください。

【取得に必要な科目】

社会調査士資格取得のためには、以下のA～Gに対応する科目を全て履修する必要があります。（ただし、EとFはどちらか1つを選択して履修すれば大丈夫です。）

| 社会調査士資格のカリキュラム | | 年次 | 本学の対応科目名 | 2021年度担当 |
|----------------|---------------------|----|---------------|----------|
| A | 社会調査の基本的事項に関する科目 | 2～ | 社会調査法（注1） | 毛利 康秀 |
| B | 調査設計と実施方法に関する科目 | 2～ | アンケート調査法 | 川崎 友加 |
| C | 基本的な資料とデータの分析に関する科目 | 2～ | 観光学研究法 | 川崎 友加 |
| D | 社会調査に必要な統計学に関する科目 | 2～ | 心理学統計法Ⅰ | 林 智幸 |
| E | 量的データ解析の方法に関する科目 | 3～ | 心理学統計法Ⅱ | 林 智幸 |
| F | 質的な調査と分析の方法に関する科目 | 2～ | 観光地域フィールドワーク論 | 毛利 康秀 |
| G | 社会調査の実習を中心とする科目 | 3～ | 専門演習Ⅱ | 川崎 友加 |
| | | 3～ | 専門演習Ⅱ | 洪 明真 |
| | | 3～ | 専門演習Ⅱ | 毛利 康秀 |

（注1）「社会調査法」は、人間社会学科の開設科目（担当：毛利康秀）を履修して下さい。コミュニティ福祉学科の開設科目（担当：志田倫子）は、社会調査士資格のカリキュラムに対応していません。

（注2）社会調査士資格のカリキュラムに対応しているG科目は、観光地域デザインメジャー教員が担当する「専門演習Ⅱ」（3年生対象、担当：洪 明真・川崎友加・毛利康秀）となります。そのため、社会調査士資格取得希望者は、観光地域デザインメジャーのゼミを選択する必要があります。他のメジャーに所属している学生で、社会調査士資格の取得を希望する場合、（少なくとも3年次は）所属ゼミの変更が必要となりますので、教員に相談してください。

【社会調査士（キャンディデイト）資格とその申請手順】

社会調査士資格は、大学の卒業が認定の要件になります。よって、実際の資格取得は大学卒業後となりますが、社会調査協会では、資格の就職活動での活用を想定し、社会調査士資格を取得見込みであることを証明する「社会調査士（キャンディデイト）」資格を希望者に発行しています。申請の時期は、6月中旬および10月中旬の2回です。詳細はG科目の履修者を対象に、別途案内します。

※キャンディデイト資格の申請時に審査・認定手数料がかかります。

【社会調査士資格の申請手順】

社会調査士資格（キャンディデイト資格からの変更も含む）の申請は、卒業前の1月から3月にかけて、社会調査協会のホームページから学生自身で手続きを行います。さらに、単位取得と卒業を証明する書類等を卒業までに準備しておく必要があります。詳細はG科目の履修者を対象に、別途案内します。

※社会調査士資格の申請時に審査・認定手数料がかかります。

不明な点がある場合は、社会調査士資格の担当教員（毛利）まで問い合わせてください。

*社団法人 社会調査協会 <http://jasr.or.jp/>